

2023年9月10日(日)第二主日礼拝

マルコの福音書11章12～25節

『わたしの家は祈りの家』

序論:

- ① イエスさまはなぜ、エルサレムに着き、宮に入られて、すべてを見て回られたのですか。
- ② イエスさま、空腹になると思いますか。それはなぜですか。

本論:

1. 主は御霊の実を期待される

- ① イエスさまはなぜ、いちじくのなる季節ではないのに、木に何かあるか見に行かれたのですか。
- ② 「いちじくの木」とは何を象徴しているのですか。
- ③ 葉だけが茂って実のないいちじくの木は、何を象徴していますか。

2. 教会は祈りの家と呼ばれる

- ① イエスさまはなぜ、商売人や両替人を宮から追い出されたのですか。
- ② 鳩を売る商売人や貨幣を代える両替人は、人々からどう思われていましたか。
- ③ 「祈りの家」ではなく、「強盗の巣」にしてしまったとはどういうことですか。

3. 祈りには信仰が必要である

- ① イエスさまは枯れたいちじくの木を通して、弟子たちに何を教えられようとしたのですか。
- ② イエスさまは「祈り」について、何が大事だと教えられましたか。
- ③ 祈りは、私たちクリスチャンにとってどんなものですか。

まとめ:

あなたは今日のメッセージから何を教えられ、どんな決心をされましたか。